

ふるさとの 夏まつり

《八月編》



寺村山の神 火祭り

15日、六角山の麓に「オヒカリ」がともされ、「山ノ神」の火文字が浮かび上がりました。文政6年から続く伝統行事で、秋の豊作への祈りが込められています。太鼓演奏やよさこいの練り歩きなどもあり、人々の笑顔と熱気に包まれました。

内子 笹まつり

6・7日、内子本町商店街を笹飾りが彩りました。昼のにぎわいに続き、夜はランタンの明かりが通りを優しく照らします。笹踊りコンクールには学校や自治会など24の連が参加。趣向を凝らした演技で盛り上げました。

暑い夏、最後まで、心熱く――